

学校法人 郷学舎
アルスコンピュータ専門学校

平成 25 年度版
情報公開資料

The logo consists of the letters 'ARS' in a bold, green, sans-serif font. The 'A' and 'R' are connected at the top, and the 'S' is positioned to the right of the 'R'.

<目次>

大項目	項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	① 学校基本情報（法人名、理事長名、校長名、所在地、連絡先等）
	② 学校沿革
	③ 目標及び計画（建学の理念、開校の目的、校訓、教育目標、教育方針）
(2) 各コースの教育	① 入学者に関する受入れ方針
	② 各コースの定員及び修業年数
	③ 編入学制度
	④ 学習指導方針（各コース指導方針、目標とする検定）
	⑤ 授業時間数・カリキュラム
	⑥ 就職内定率、卒業後の進路
(3) 教職員	① 教職員数・組織体制
	② 教職員の専門性
	③ 教職員研修の基本方針
	④ 教職員研修・研究の実績
(4) キャリア教育・職業実践教育	① キャリア教育への取組状況
	② 教育課程改善委員会
	③ 実習等への取組状況
	④ 就職支援等への取組状況
(5) 様々な教育活動・教育環境	① 学校行事への取組状況
	② 課外活動（ボランティア活動）
(6) 学生の生活支援	① 学生支援への取組状況（学生支援の組織、学校生活上の諸問題に対する対処・指導状況）
(7) 学生納付金・就学支援	① 学生納付金の取扱い（金額、納入時期等）
	② 活用できる経済的支援措置の内容等（奨学金、授業料減免等の案内等）
(8) 学校の財務	① 事業報告書
	② 貸借対照表
	③ 収支計算書
	④ 監査報告書
(9) 学校評価	① 自己評価・学校関係者評価の結果
	② 評価結果を踏まえた改善方策
(10) その他	① 学校運営の状況に関するその他の情報

(1) 学校の概要、目標及び計画

①学校基本情報

学校名	アルスコンピュータ専門学校	創立	昭和 63 年 4 月 1 日
学校所在地	〒360-0046	専修学校	昭和 63 年 3 月 31 日認可
連絡先等	埼玉県熊谷市鎌倉町 1 2 4 TEL : 048-526-0919 FAX : 048-525-8119 URL : http://www.arsnet.ac.jp/school	法人	昭和 63 年 3 月 31 日認可
		設置者名	学校法人 郷学舎
		理事長名	山崎 彰
		校長名	荻野 欣男

②学校沿革

	年 月 日	事 項
沿 革	法人設立	
	昭和 62 年 6 月 8 日	埼玉県私立学校審議会・事業計画承認
	昭和 63 年 3 月 23 日	埼玉県私立学校審議会・許可答申
	昭和 63 年 3 月 31 日	埼玉県知事許可
	昭和 63 年 4 月 1 日	学校法人 郷学舎 設立
	学校設置	
	昭和 62 年 6 月 8 日	埼玉県私立学校審議会・設置計画承認
	昭和 63 年 3 月 23 日	埼玉県私立学校審議会・許可答申
	昭和 63 年 3 月 31 日	埼玉県知事許可
	昭和 63 年 4 月 1 日	アルスコンピュータ専門学校開設（専修学校専門課程） 初代校長 高橋達治就任
	校舎建設	
	昭和 62 年 10 月 14 日	起工式
	昭和 62 年 12 月 29 日	上棟式
	昭和 63 年 3 月 30 日	竣工
	平成 18 年 2 月 22 日	熊谷市鎌倉町 125 番地の校地として取得
	平成 19 年 9 月 4 日	熊谷市鎌倉町 123 番地の土地・建物取得、校舎として検査完了
	平成 22 年 5 月 6 日	熊谷市鎌倉町 125 番地の校地に学生センター建設
	平成 24 年 2 月 28 日	熊谷市本町 1-149-1 の土地・建物（研究室）として取得
	開 校	
	昭和 63 年 4 月 12 日	第 1 回入学式挙行
平成 2 年 3 月 15 日	第 1 回卒業式挙行	
平成元年 4 月 1 日	二代校長 戸川武三就任	
平成 7 年 1 月 2 日	工業専門課程情報システム科（2 年課程）、商業実務課程情報経理課（2 年課程）、0 A ビジネス科（2 年課程）の修了者への専門士称号授与承認	
平成 11 年 4 月 1 日	情報システム科コース改編／情報経理科コース改編	

平成 12 年 4 月 1 日	OA ビジネス科改称・改編 三代校長 持田敬夫就任
平成 14 年 4 月 1 日	IT 総合研究科 IT 総合研究コース新設
平成 15 年 7 月 29 日	目的変更計画埼玉県知事承認 (福祉保育科情報保育コース)
平成 16 年 4 月 1 日	同認可
平成 18 年 2 月 22 日	教育・社会福祉専門課程福祉保育科 (3 年課程) の修了者への専門士の称号授与承認
平成 20 年 4 月 1 日	四代校長 荻野欣男就任
平成 25 年 3 月 9 日	第 24 回卒業式を挙行
平成 25 年 4 月 6 日	第 25 回入学式を挙行

③目標及び計画

1. 建学の理念

学に郷う (学に向かう)

実学の精神

郷土の学舎 (郷土のまなびや) 地域のための人材育成

2. 開校の目的

- (1) 地域経済社会への貢献 地域の情報発信基地・人材育成
- (2) 21 世紀情報社会構築の一翼を担う情報通信技術の研究・開発
- (3) 学生が誇りとし、地域から愛される学校づくり

3. 校訓

努力・感動 人生には感動が、感動には努力が必要だ。

自律・自主 お互いに信頼し、またその信頼に背かないようにしよう。

参加・完遂 参加することを、義務ではなく、権利として大切にし、目標を達成しよう。

4. 教育目標

Acquirement	高度な知識・技術の習得	先端技術を駆使する実務能力
Reliability	信頼される人間の育成	進取の気概をもつ意欲ある行動
Sincerity	責任感ある誠実な人間の育成	基本動作を大切に作る習慣づくり
ARS とは	「訓練・熟練によって習得される高度な技術一般」を指したラテン語	

5. 教育方針

<スペシャリストの養成>

本校は、現代社会の要請、特に地元産業の求める人材を育成する。そのため、実社会で必要とされ、その発展に寄与できる能力・知識・技術・資格を備えた“スペシャリスト”を養成する。

<豊かな人間性の育成>

明るく健康で建設的な意志を持ち、協調性と人間性豊かな良識ある社会人を育成する。

(2) 各コースの教育

①入学者に関する受入れ方針

入学者の選考については、募集要項に基づいて、各学科コースの特色に配慮しつつ、その教育を受けるに足る能力・適性等を判定して選考を行う。

② 各コースの定員及び修業年数

課 程	学 科 名	コ ー ス 名	修業年数	募集定員
工業専門課程	情報システム科	システム開発コース (システムエンジニア・プログラマー・システムアドミニストレータ育成コース)	2年	20名
		ゲームクリエイターコース (ゲーム・サウンド・グラフィッククリエイター育成コース)	2年	20名
		CGデザイナー・CADコース (CGデザイナー・CAD利用技術者育成コース)	2年	20名
商業実務専門課程	情報ビジネス科	情報ビジネスコース (コンピュータ利用技術者育成コース)	2年	20名
		保健・医療ビジネスコース (保健・医療ビジネス事務スタッフ育成コース)	2年	25名
	ビジネス・ベーシック科	ビジネス・ベーシックコース (ビジネススタッフ基礎能力育成コース)	1年	15名
教育・社会福祉専門課程	福祉保育科	幼児保育コース (幼稚園教諭・保育士・社会福祉主事(任用)育成コース)	3年	15名
工業専門課程	IT総合研究科	IT総合研究コース (上級者育成・研究コース)	1年	10名

③編入学制度

大学・短期大学・専門学校を既に卒業されている人または、これから卒業を予定されている人で資格や専門士の称号取得を目指す人を、本校卒業に必要な単位（107時間単位）の1/4分を認定して受け入れる制度です。1年次に編入し2年次前期で卒業に必要な単位を取得でき、実質的な修業年数は1.5年となります。在席は2年間とし、卒業年度は2年次後期終了時となります。この制度の利用者は入学金と授業料の減免が認められます。

*福祉保育科、IT総合研究科に関しては、単位認定はしておりません。

<募集学科（コース毎）・定員・修業年数・編入学による入学者数>

課程	学科名	コース名	修業年数	募集定員
工業専門課程	情報システム科	システム開発	1.5年	各5名まで
		ゲームクリエイター		
		CGデザイナー・CAD		
商業実務専門課程	情報ビジネス科	情報ビジネス		
		保健・医療ビジネス		
教育・社会福祉専門課程	福祉保育科	幼児保育	3年	
工業専門課程	IT総合研究科	IT総合研究	1年	

④学習指導方針（各コースの指導方針、目標とする検定）

学科名	コース名	指導方針	目標とする検定
情報システム科	システム開発コース	国家試験応用情報技術者試験・基本情報技術者試験やITパスポート試験の取得を目指します。情報処理や利用技術を支える「システムエンジニア・プログラマ」を育成します。	応用情報技術者試験 基本情報技術者試験 ITパスポート試験 情報処理技術者能力認定試験 情報検定（J検）情報システム試験
	ゲームクリエイターコース	ゲーム制作に必要なプログラミング技術・CGコンテンツ制作、サウンド技術を学び、CG、ゲーム業界で活躍できる「ゲームプログラマ・グラフィックデザイナー・サウンドクリエイター」を育成します。	CGクリエイター検定 マルチメディア検定 情報検定（J検）情報システム試験 基本情報技術者試験 ITパスポート試験
	CGデザイナー・CADコース	マルチメディア検定・CGクリエイター検定・CAD利用技術者試験の取得を目指します。マルチメディアデザイナーとしての感性とCAD製図技術を幅広く学び、感性を持ったエンジニア、技術・知識を持ったデザイナーを育成します。	マルチメディア検定 CGクリエイター検定 Webデザイナー検定 CAD利用技術者試験 DTP検定 情報検定（J検）情報活用試験
IT総合研究科	IT総合研究コース	専門士、学士、短期大学士ならびに高資格取得者（基本情報技術者試験、ITパスポート試験など）、経験者の為に開設するコースです。他のコースからの教科選択も可	応用情報技術者試験 ITストラテジスト試験 ネットワークスペシャリスト試験 データベーススペシャリスト試験

		<p>能です。</p> <p>(注) 1年制のため、専門士の称号は取得できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・システム開発の実践 <p>情報処理技術者試験を取得する。</p> <p>システム開発に従事するシステムエンジニア・プログラマを育成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3Dゲームタイトル製作 <p>DirectX ライブラリを活用した、3Dゲームプログラマを育成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3DCGコンテンツ制作 <p>Maya を使いこなす3DCGデザイナーを育成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・システム運用管理研究 <p>情報システムの運用・管理・保守に関する作業を行うシステムアドミニストレータを育成する。</p>	
情報ビジネス科	情報ビジネスコース	<p>国家試験のITパスポート試験をはじめ情報検定、表計算検定、ワープロ検定、ビジネス能力検定など様々な検定の取得を目指します。企業でコンピュータやネットワークを使いこなす為に必要な知識・技術を身に付けた「コンピュータ利用技術者」を育成します。</p>	<p>ITパスポート試験</p> <p>情報検定 (J 検) 情報活用試験</p> <p>ビジ初文書検定</p> <p>ビジネス能力検定 (B 検)</p> <p>サービス接遇検定</p> <p>秘書検定</p> <p>簿記検定</p> <p>Word 文書処理技能認定試験</p> <p>Excel 表計算処理技能認定試験</p> <p>Access ビジネスデータベース技能認定試験</p> <p>販売士</p>
	保健・医療ビジネスコース	<p>診療報酬請求事務能力認定試験、医療事務技能審査試験、医療秘書技能検定試験、医事コンピュータ技能検定試験などの取得を目指します。</p> <p>医療機関で必要とされる診療報酬請求事務能力、医事コンピュータ操作力 (レセプトコンピュータ・電子カルテ)、医療法規、病名コーディングをはじめ、ビジネス知識やPCスキルなど多岐にわたる能力を身に付けた「医療事務スペシャリスト」を育成</p>	<p>診療報酬請求事務能力認定試験 (医科)</p> <p>医療事務技能審査試験 (メディカルワーク)</p> <p>医療秘書技能検定</p> <p>ホスピタルコンシェルジュ検定試験</p> <p>医事コンピュータ技能検定試験</p> <p>電子カルテ実技検定試験</p> <p>ICDコーディング技能検定</p> <p>医師事務作業補助技能認定試験 (ドクターズ・ワーク)</p> <p>診療情報管理技能認定試験 (メディカル・レコード・コー</p>

		<p>します。</p>	<p>ディテーター)</p> <p>秘書検定</p> <p>調剤事務管理士技能認定試験</p> <p>Excel 表計算処理技能認定試験</p> <p>Word 文書処理能力検定</p>
<p>ビジネ ス・ベーシ ック科</p>	<p>ビジネス・ベ ーシックコ ース</p>	<p>社会人・職業人としての必要基礎能力を習得します。社会に出るための基本的に必要な基礎学力や専門能力・技術・ビジネスマナー・コミュニケーション能力・職業人意識など幅広く学びます。</p> <p>(注) 1年制のため、専門士の称号は取得できません。</p>	<p>情報検定 (J 検) 情報活用試験</p> <p>ビジネス文書検定</p> <p>ビジネス能力検定 (B 検定)</p> <p>簿記検定</p> <p>Word 文書処理</p> <p>技能認定試験</p> <p>Excel 表計算処理技能認定試験</p>
<p>福祉保育 科</p>	<p>幼児保育コ ース</p>	<p>幼稚園教諭二種免許状、保育士資格、社会福祉主事 (任用) 資格の取得を目指し、近畿大学九州短期大学通信教育部保育科との併修により、短期大学士 (短大) の資格も同時取得できます。</p> <p>プロの幼児教育者を目指し、実技・実習を通して幼児教育者としての専門知識・技術を身に付けること、さらに IT 知識・技術を備えた幼児教育者を育成します。</p>	<p>Word 文書処理技能認定試験</p> <p>Excel 表計算処理技能認定試験</p> <p>情報検定 (J 検) 情報活用試験</p>

⑤授業時間数・カリキュラム

平成 24 年度コース別授業時間数

課 程	学科 コース	学年	学則上の年間授 業時間 (単位時間)	1 日の平均授業時間 数 (週の総授業時間 数/週の授業日数)	授業実施日数 (日)
工業専門 課程	情報システム科 システム開発コース	1 年	1,336	7.2	186
		2 年	988	5.6	178
	情報システム科 ゲームクリエイターコース	1 年	1,304	7.4	177
		2 年	1,120	6.2	180
	情報システム科 CGデザイナー・CAD コース	1 年	1,232	7.2	172
		2 年	1,196	6.9	173
	I T 総合研究科 I T 総合研究コース	1 年	1,164	6.6	178
商業実務 専門課程	情報ビジネス科 情報ビジネスコース	1 年	1,600	8.6	186
		2 年	1,484	8.4	178
	情報ビジネス科 保健・医療ビジネスコース	1 年	1,340	7.5	179
		2 年	1,252	7.1	176
	ビジネスベーシック科 ビジネス・ベーシックコース	1 年	996	4.6	215
教育・社会 福祉 専門課程	福祉保育科 幼児保育コース	1 年	1,272	7.4	172
		2 年	1,116	6.7	167
		3 年	1,040	6.1	170

カリキュラム一覧（平成 25 年度用）

情報システム科（システム開発コース：1年次）			情報システム科（ゲームクリエイターコース：1年次）		
教科区分	授業科目	必選の別	教科区分	授業科目	必選の別
専門教科	コンピュータ概論	必修	専門教科	ゲーム企画	必修
〃	ネットワーク技術	〃	〃	ゲームプログラミング I	〃
〃	データベース技術	〃	〃	プログラム設計	〃
〃	システム開発概論	〃	〃	C++言語（基礎）	〃
〃	プログラム設計	〃	〃	コンピュータグラフィックス I	〃
〃	マネジメント概論	〃	〃	ゲームサウンド I	〃
〃	IT ストラテジ概論	〃	〃	コンテンツ制作 I	選択
〃	C 言語	〃	〃	C++言語（応用）	〃
〃	Java 言語 I	〃	〃	特別講義 I	〃
〃	特別講義 I	選択	〃	特別講義 II	〃
〃	特別講義 II	〃	〃	デザイン概論	必修
一般教科	表現技法 I	必修	〃	表現基礎	〃
〃	就職実務 I	〃	〃	コンピュータシステム	〃
〃	一日研修旅行 II	〃	一般教科	表現技法 I	〃
〃	スポーツ大会	〃	〃	就職実務 I	〃
〃	アワードバンケット	〃	〃	一日研修旅行 II	〃
〃	基礎演習 I	選択	〃	スポーツ大会	〃
〃	基礎演習 II	〃	〃	アワードバンケット	〃
〃	企業実習 I	〃	〃	基礎演習 I	選択
〃	一日研修旅行 I	〃	〃	基礎演習 II	〃
〃	合宿研修	〃	〃	企業実習 I	〃
〃	スキー教室	〃	〃	一日研修旅行 I	〃
			〃	合宿研修	〃
			〃	スキー教室	〃

情報システム科 (CGデザイナー・CADコース: 1年次)		
教科区分	授業科目	必選の別
専門教科	マルチメディア概論 I	必修
〃	コンピュータグラフィックス I	〃
〃	デザイン概論	〃
〃	表現基礎	〃
〃	CAD製図技法	〃
〃	CAD実習 (初級)	〃
〃	CAD実習 (機械上級 I)	〃
〃	CAD実習 (建築・電気上級 I)	〃
〃	Webデザイン I	〃
一般教科	表現技法 I	必修
〃	就職実務 I	〃
〃	一日研修旅行 II	〃
〃	スポーツ大会	〃
〃	アワードバンケット	〃
〃	基礎演習 I	選択
〃	基礎演習 II	〃
〃	企業実習 I	〃
〃	一日研修旅行 I	〃
〃	合宿研修	〃
〃	スキー教室	〃

IT総合研究科 (IT総合研究コース: 1年次)		
教科区分	授業科目	必選の別
専門教科	コンピュータシステム	選択
〃	プロジェクトマネジメント	〃
〃	ネットワーク技術	〃
〃	データベース技術	〃
〃	デザイン企画	〃
〃	特別講義 I	〃
〃	特別講義 II	〃
〃	選択実習 I	〃
〃	選択実習 II	〃
〃	選択実習 III	〃
〃	選択実習 IV	〃
一般教科	就職実務	必修
〃	スポーツ大会	〃
〃	アワードバンケット	〃
〃	公務員試験対策講座	選択
〃	一日研修旅行 I	〃
〃	一日研修旅行 II	〃
〃	企業実習	〃
〃	スキー教室	〃

情報ビジネス科（情報ビジネスコース：1年次）			情報ビジネス科（保健・医療ビジネスコース：1年次）		
教科区分	授業科目	必選の別	教科区分	授業科目	必選の別
専門教科	I T 概論 I	選択	専門教科	医療概論	必修
〃	I T 概論 II	〃	〃	医学・薬学一般	〃
〃	接遇実習	必修	〃	臨床医学	〃
〃	ビジネス概論	〃	〃	医療関連法規	〃
〃	ビジネス文書	〃	〃	病院管理学	〃
〃	WORD 実習	〃	〃	医事用語	〃
〃	EXCEL 実習	〃	〃	医療事務 I（医科）	〃
〃	ACCESS 実習 I	〃	〃	特別講義 I	〃
〃	商業簿記	〃	〃	患者接遇 I	〃
〃	特別講義 I	選択	〃	患者接遇 II	〃
〃	特別講義 II	〃	〃	ビジネス概論	〃
〃	特別講義 III	〃	〃	アプリケーション実習 I	〃
〃	アプリケーション実習 I	必修	〃	コミュニケーション手話	選択
〃	コンピュータリテラシ基礎 I	選択	〃	総合演習	〃
〃	コンピュータリテラシ基礎 II	〃	一般教科	表現技法 I	必修
一般教科	総合英語	〃	〃	就職実務 I	〃
〃	表現技法 I	必修	〃	一日研修旅行 II	〃
〃	就職実務 I	〃	〃	スポーツ大会	〃
〃	一日研修旅行 II	〃	〃	アワードバンケット	〃
〃	スポーツ大会	〃	〃	基礎演習 I	選択
〃	アワードバンケット	〃	〃	基礎演習 II	〃
〃	基礎演習 I	選択	〃	企業実習 I	〃
〃	基礎演習 II	〃	〃	一日研修旅行 I	〃
〃	企業実習 I	〃	〃	合宿研修	〃
〃	一日研修旅行 I	〃	〃	スキー教室	〃
〃	合宿研修	〃			
〃	スキー教室	〃			

ビジネス・ベーシック科 (ビジネス・ベーシックコース：1年次)		
教科区分	授業科目	必選の別
専門教科	特別講義	必修
〃	ビジネス概論Ⅰ	〃
〃	ビジネス概論Ⅱ	〃
〃	情報リテラシ	〃
〃	WORD実習	〃
〃	E X C E L実習	〃
〃	プレゼンテーション技法	〃
〃	インターネット実習	〃
〃	経理事務	〃
〃	ビジネスマナー	〃
〃	コミュニケーション能力	〃
〃	時事問題	〃
〃	教養科目	〃
〃	コンピュータリテラシ基礎	選択
一般教科	公務員試験対策講座	〃
〃	総合英語	〃
〃	表現技法	必修
〃	就職実務	〃
〃	一日研修旅行Ⅱ	選択
〃	スポーツ大会	〃
〃	アワードバンケット	〃
〃	企業実習	〃
〃	一日研修旅行Ⅰ	〃
〃	合宿研修	〃
〃	スキー教室	〃

福祉保育科（幼児保育コース：1年次）							
教科区分	授業科目	必選の別	備考	教科区分	授業科目	必選の別	備考
専門教科	音楽Ⅰ①（器楽）	必修	大学認定	一般教科	表現技法Ⅰ	〃	
〃	音楽Ⅰ①（声楽）	〃	大学認定	〃	就職実務Ⅰ	〃	
〃	ピアノレッスンⅠ	〃		〃	一日研修旅行Ⅱ	〃	
〃	ピアノレッスンⅡ	〃		〃	スポーツ大会	〃	
〃	声楽レッスン	〃		〃	アワードバンケット	〃	
〃	教育心理学	〃	※	〃	基礎演習Ⅰ	選択	
〃	健康	〃	大学認定	〃	基礎演習Ⅱ	〃	
〃	健康科学	〃	※	〃	企業実習Ⅰ	〃	
〃	生涯スポーツ	〃	大学認定	〃	一日研修旅行Ⅰ	〃	
〃	ゼッサン	〃		〃	合宿研修	〃	
〃	図画工作	〃	大学認定	〃	スキー教室	〃	
〃	英会話Ⅰ	〃	※				
〃	総合英語	〃					
〃	児童文化	〃	※				
〃	社会福祉	〃	※				
〃	児童家庭福祉	〃	※				
〃	保育原理	〃	※				
〃	保育内容総論	〃	大学認定				
〃	社会的養護	〃	※				
〃	社会的養護内容	〃	大学認定				
〃	教育課程総論	〃	※				
〃	保育指導	〃	※				
〃	教師論	〃	※				
〃	特別講義Ⅰ	〃					
〃	情報処理Ⅰ	〃	※				
〃	情報処理Ⅱ	〃					

注1) 備考に大学認定と表記されている授業科目は近畿大学九州短期大学により単位認定される。

注2) 備考に※と表記されている授業科目は本校及び近畿大学九州短期大学により単位認定される。

注3) 備考が空欄の授業科目は本校により単位認定される。

情報システム科（システム開発コース：2年次）		
教科区分	授業科目	必選の別
専門教科	C++言語	必修
〃	Java 言語Ⅱ	〃
〃	システム構築	〃
〃	アプリケーション実習	〃
〃	プレゼンテーション技法	〃
〃	卒業研究	〃
〃	特別講義Ⅲ	選択
一般教科	表現技法Ⅱ	必修
〃	就職実務Ⅱ	〃
〃	一日研修旅行Ⅱ	〃
〃	スポーツ大会	〃
〃	アワードバンケット	〃
〃	公務員試験対策講座	選択
〃	企業実習Ⅱ	〃
〃	一日研修旅行Ⅰ	〃
〃	卒業研修旅行	〃
〃	スキー教室	〃

情報システム科（ゲームクリエイターコース：2年次）		
教科区分	授業科目	必選の別
専門教科	ゲームシステム設計	必修
〃	ゲームプログラミングⅡ	選択
〃	プログラム応用	〃
〃	コンピュータグラフィックスⅡ	〃
〃	コンテンツ制作Ⅱ	〃
〃	特別講義Ⅱ	〃
〃	ゲームサウンドⅡ	必修
〃	アプリケーション実習	〃
〃	デザイン実習	〃
〃	卒業研究	〃
一般教科	表現技法Ⅱ	必修
〃	就職実務Ⅱ	〃
〃	一日研修旅行Ⅱ	〃
〃	スポーツ大会	〃
〃	アワードバンケット	〃
〃	公務員試験対策講座	選択
〃	企業実習Ⅱ	〃
〃	一日研修旅行Ⅰ	〃
〃	卒業研修旅行	〃
〃	スキー教室	〃

情報システム科（CGデザイナー・CADコース：2年次）		
教科区分	授業科目	必選の別
専門教科	マルチメディア概論Ⅱ	必修
〃	コンピュータグラフィックスⅡ	〃
〃	デザイン実習	〃
〃	CAD実習（機械上級Ⅱ）	選択
〃	CAD実習（建築・電気上級Ⅱ）	〃
〃	WebデザインⅡ	〃
〃	DTP	〃
〃	ムービー編集	〃
〃	プレゼンテーション技法	必修
〃	卒業研究	〃
一般教科	表現技法Ⅱ	〃
〃	就職実務Ⅱ	〃
〃	一日研修旅行Ⅱ	〃
〃	スポーツ大会	〃
〃	アワードバンケット	〃
〃	公務員試験対策講座	選択
〃	企業実習Ⅱ	〃
〃	一日研修旅行Ⅰ	〃
〃	卒業研修旅行	〃
〃	スキー教室	〃

情報ビジネス科（情報ビジネスコース：2年次）		
教科区分	授業科目	必選の別
専門教科	ACCESS実習Ⅱ	必修
〃	インターネット実習Ⅰ	〃
〃	インターネット実習Ⅱ	〃
〃	プレゼンテーション技法	〃
〃	卒業研究	〃
〃	特別講義Ⅳ	選択
〃	特別講義Ⅴ	〃
〃	アプリケーション実習Ⅱ	〃
〃	アプリケーション実習Ⅲ	〃
〃	コンピュータリテラシ基礎Ⅲ	〃
〃	コンピュータリテラシ基礎Ⅳ	〃
〃	販売士	〃
一般教科	総合英語	〃
〃	インターネット英語	〃
〃	コンピュータ翻訳実習	〃
〃	表現技法Ⅱ	必修
〃	就職実務Ⅱ	〃
〃	一日研修旅行Ⅱ	〃
〃	スポーツ大会	〃
〃	アワードバンケット	〃
〃	公務員試験対策講座	選択
〃	企業実習Ⅱ	〃
〃	一日研修旅行Ⅰ	〃
〃	卒業研修旅行	〃
〃	スキー教室	〃

情報ビジネス科（保健・医療ビジネスコース：2年次）		
教科区分	授業科目	必選の別
専門教科	患者論	必修
〃	医療事務Ⅱ（医科）	〃
〃	医療事務Ⅲ（調剤）	〃
〃	特別講義Ⅱ	〃
〃	特別講義Ⅲ	〃
〃	医事コンピュータ実習	〃
〃	電子カルテ実習	〃
〃	患者接遇Ⅲ	〃
〃	カルテ読解	〃
〃	医療文書作成	〃
〃	情報リテラシ	〃
〃	アプリケーション実習Ⅱ	〃
〃	アプリケーション実習Ⅲ	〃
〃	コミュニケーション英会話	選択
〃	診療情報管理論	〃
〃	DPC基礎	〃
〃	分類法演習	〃
〃	病院実習Ⅰ	必修
〃	病院実習Ⅱ	選択
一般教科	表現技法Ⅱ	必修
〃	就職実務Ⅱ	〃
〃	一日研修旅行Ⅱ	〃
〃	スポーツ大会	〃
〃	アワードバンケット	〃
〃	公務員試験対策講座	選択
〃	企業実習Ⅱ	〃
〃	一日研修旅行Ⅰ	〃
〃	卒業研修旅行	〃
〃	スキー教室	〃

福祉保育科（幼児保育コース：2年次）

教科区分	授業科目	必選の別	備考	教科区分	授業科目	必選の別	備考
専門教科	音楽Ⅰ②（器楽）	必修	大学認定	一般教科	表現技法Ⅱ	必修	
〃	音楽Ⅰ②（声楽）	〃	大学認定	〃	就職実務Ⅱ	〃	
〃	ピアノレッスンⅢ	〃		〃	一日研修旅行Ⅱ	〃	
〃	声楽レッスン	〃		〃	アワードバンケット	〃	
〃	人間関係	〃	大学認定	〃	スポーツ大会	〃	
〃	児童家庭福祉Ⅱ	〃	※	〃	公務員試験対策講座	選択	
〃	幼児体育	〃	大学認定	〃	企業実習Ⅱ	〃	
〃	教育原理	〃	※	〃	スキー教室	〃	
〃	日本国憲法	〃	※	〃	一日研修旅行Ⅰ	〃	
〃	家庭支援論	〃	※				
〃	障害児保育	〃	※				
〃	子どもの保健Ⅰ②	〃	※				
〃	子どもの食と栄養	〃	※				
〃	乳児保育	〃	※				
〃	教育相談	〃	※				
〃	保育相談支援	〃	大学認定				
〃	言語表現	〃	大学認定				
〃	保育実習事前事後指導	〃	大学認定				
〃	保育実習Ⅰ（保育）	〃	大学認定				
〃	教育実習事前事後指導	〃	大学認定				
〃	教育実習②	〃	大学認定				
〃	表現基礎Ⅰ	〃					
〃	表現Ⅰ	〃	※				
〃	表現Ⅲ	〃	大学認定				
〃	情報処理Ⅲ	〃					

注1) 備考に大学認定と表記されている授業科目は近畿大学九州短期大学により単位認定される。

注2) 備考に※と表記されている授業科目は本校及び近畿大学九州短期大学により単位認定される。

注3) 備考が空欄の授業科目は本校により単位認定される。

福祉保育科（幼児保育コース：3年次）			
教科区分	授業科目	必選の別	備考
専門教科	ピアノレッスンⅣ	必修	
〃	相談援助	〃	大学認定
〃	子どもの保健Ⅰ③	〃	※
〃	子どもの保健Ⅱ	〃	大学認定
〃	保育実習事前事後指導Ⅱ	〃	大学認定
〃	保育実習事前事後指導Ⅲ	〃	大学認定
〃	保育実習Ⅰ（施設）	〃	大学認定
〃	保育実習Ⅱ	〃	大学認定
〃	教育実習③	〃	大学認定
〃	環境	〃	大学認定
〃	言葉	〃	大学認定
〃	発達心理学	〃	※
〃	保育・教職実践演習	〃	※
〃	表現Ⅱ	〃	大学認定
〃	情報処理Ⅳ	〃	
〃	情報リテラシ	〃	
一般教科	表現技法Ⅲ	〃	
〃	就職実務Ⅲ	〃	
〃	一日研修旅行Ⅱ	〃	
〃	スポーツ大会	〃	
〃	アワードバンケット	〃	
〃	卒業研修旅行	選択	
〃	スキー教室	〃	
〃	一日研修旅行Ⅰ	〃	

注1) 備考に大学認定と表記されている授業科目は近畿大学九州短期大学により単位認定される。

注2) 備考に※と表記されている授業科目は本校及び近畿大学九州短期大学により単位認定される。

注3) 備考が空欄の授業科目は本校により単位認定される。

⑥就職内定率、卒業後の進路

就職内定率（平成 24 年度）	就職内定率（平成 23 年度）	就職内定率（平成 22 年度）	就職内定率（平成 21 年度）
98.9%	98.1%	97.6%	97.1%

<主な就職先>（平成 24 年度）

富士通アプリケーションズ、JR システム・エンジニアリング、エヌシステム、NTT-ME、スバルシステムサービス、パシフィックシステムズ自フジミック埼玉、森乳業、ソルトライブ、埼玉県魚市場、関東ソフトウェア、カナオカ、第一倉庫冷蔵、行田総合病院、埼玉慈恵病院、上尾中央総合病院、埼玉県中央病院、慶友整形外科病院、北深谷病院、東鷲宮病院、若葉病院、鈴木外科病院、藤間病院、埼玉医科大学総合医療センター、おおしまクリニック、くぼじまクリニック、さめじまボンディングクリニック、山田ハートクリニック、日本保育サービス、さくら保育園、愛弘会、他

<主な就職先>（平成 21～23 年度）

エヌ・ティ・ティ・エムイー、アドバンテストメディアサービス、埼玉富士、富士エンジニアリング、富士通アプリケーションズ、スバルシステムサービス、リンテック、長島エンジニアリング、グローバル、アイ・ティー・ワン、関東ソフトウェア、小泉北関東、日本NCRサービス、日本郵政グループ、ヤマトシステム開発、T&D情報システム、Minor iソリューションズ、テクノパワー、NTCテクノロジー、カナオカ、コスモシステム、ユー・コーポレーション、埼玉ひびきの農業協同組合、ジェイアールシステム・エンジニアリング、森乳業、武蔵嵐山病院、関東脳神経外科病院、蓮田病院、藤間病院、騎西クリニック、熊谷外科病院、国保町立小鹿野中央病院、埼玉医科大学病院、埼玉県厚生農業共同組合、埼玉慈恵病院、埼玉脳神経外科病院、行田総合病院、戸田中央医科グループ、本庄福島病院、明海大学病院、ヘリオス会病院、埼玉県中央病院、さめじまボンディングクリニック、慶友整形外科病院、口腔研クリニック、中央薬局グループ、どんぐりこども診療所、こばやし小児科、鴻巣外科胃腸科、深谷耳鼻咽喉科クリニック、毛呂病院、よしおか内科こどもクリニック、グランドール、クリーン薬局、大慶堂、タジマ薬局、トミオカ薬局、アイ薬局、ユニコ調剤薬局、荒川幼稚園、摩耶幼稚園、県北若竹学園、大芦保育園、日本保育サービス、第二のぞみ保育園キッズガーデン、梨花の里、グローバルキッズ、どろんこ会、ぽけっとランド、嵐山郷、白鳥園、介護老人福祉施設ぬくもり、ルミエール、他

(3) 教職員

①教職員数・組織体制

区 分	実 員		
	専 任	専任以外	合 計
校 長	1		1
教 頭 職	1		1
教 員	12		12
講 師		36	36
助 手	2		2
事 務 長	1		1
事 務 職 員	7		7
その他職員		6	6
合 計	24	42	66

*組織図（図1参照）

②教職員の専門性

専門科目	
情報系	情報処理、ゲームプログラミング、CG、CAD、マルチメディア 等
ビジネス系	IT、ビジネス、販売士、医療事務、医療秘書、診療情報管理 等
保育系	保育分野科目、ピアノレッスン、声学レッスン、総合英語、情報処理、等
その他	就職指導、キャリアサポート、進路指導、広報、総務、等

③教職員研修の基本方針

本校では以下の通り教職員研修・研究に関する要綱を定め実施している。

<教員研修・研究に関する要綱より一部抜粋>

基本方針

質の高い授業、実績の向上、円滑なクラス運営を行う教育力の向上、また、企業等との連携を通じた実践的な職業教育を実施する上で、学校や各団体などが開催する研修会などに参加し、外部の情報を得ると同時に教育関係者との関係を築き、啓発を図ることが重要である。

そこで、本校の教育体制を強化する事を目的とし、教育基本法に定められている養成と研修の充実を組織的に実施するため、下記のとおり規定する。なおこの教育方針の目的を達成するため、年度ごとに研修・研究計画を策定し研修を実施する。

④教職員研修・研究の実績（平成24年4月～平成25年10月まで）

研修・研究の実績（平成24年度）			
研修期間	研修会・研究会名称	主催	概要
4月26日（木）	診療報酬改定に関する特別講演	アルスコンピュータ 専門学校	診療報酬点数表・改正点の解説や医療機関での対応等についての研修
5月9日（水）	第1回診療情報管理に関する講演会	アルスコンピュータ 専門学校	医療機関における診療情報管理についての研修
5月29日（火）	第2回診療情報管理に関する講演会	アルスコンピュータ 専門学校	ICDコーディングの実施および、DPCの概要についての研修
7月17日（火）	第3回診療情報管理に関する講演会	アルスコンピュータ 専門学校	DPCについての研修
7月27日（金）	私立学校教職員人権教育研修会	埼玉県専修学校各種 学校教育振興会	人権に関する事例の紹介と教育
7月12日（木）～13日（金）	甲種防火管理新規講習	熊谷市消防本部	防火管理に関する講習
7月7日（土）、21日（土）、8月4日（土）	専修学校教員研修会	埼玉県専修学校各種 学校教育振興会	専門学校教員認定を受ける為の研修会
7月26日（日）	販売士講座担当教員向け販売士育成講習会	(社)日本販売士協会	販売士検定の対策授業指導に関する研修
8月6日（月）～7日（火）	情報処理技術者試験対策教員研修会	全国専門学校経営研究会	情報処理技術者試験を指導する教員の事例発表を交えた研修会
8月6日（月）～8日（水）	管理職（課長・学科長クラス）マネジメント研修	全国専門学校経営研究会	中堅管理職として、組織作り、クラス運営などに関する研修
8月22日（水）～23日（木）	キャリアメンター&モチベーションアップ研修	全国専門学校経営研究会	個々の学生に応じた学生指導の手法研修
10月26日（金）	デジタルコンテンツ EXP02012	経済産業省、財団法人デジタルコンテンツ協会	HTML5の概要、特徴を学び、実際のプログラミング技術を学ぶ研修
11月22日（火）	医療機関実務担当者による特別講演	アルスコンピュータ 専門学校	医療人としての心構え等についての研修。
12月4日（火）	メディアユニバーサル・デザイン（MUD）セミナー	埼玉県印刷工業組合	色覚障害者、身体障害者、高齢者など「誰にでも優しい」ユニバーサルデザインに関する研修。
2月6日（水）～7日（木）	自己点検・自己評価研修会	全国専門学校経営研究会	全専研版自己点検・評価に関する研究報告会
2月18日（月）～20日（水）	Android技術研修会	全国専門学校情報教育協会	システム開発を指導する教員のAndroidアプリ開発スキル向上のための研修

3月1日(金)	GCS2013	新潟コンピュータ専門学校等	ゲーム企業担当者によるゲーム会社の現状についての講演や日本マイクロソフト社によるHTML5に関する技術的な研修
3月13日(水)～15日(金)	新任教員基礎研修	全国専門学校経営研究会	新任教員としての姿勢、指導案の作成、学生指導全般に関する研修
3月15日(金)	医療業界セミナー	アルスコンピュータ専門学校	医療機関で求められる人材、病院実習への準備・取り組み、就職に関するポイントなどを学ぶ研修
3月15日(金)	保育業界セミナー	アルスコンピュータ専門学校	保育実習の心構え、身だしなみやマナー、採用側からの採用基準や内定ポイントなどについての研修。
研修・研究の実績(平成25年度)			
研修期間	研修会・研究会名称	主催	概要
5月10日(金)	IT業界の現状と新入社員研修及び、就職対策に関する講演会	株式会社クエスト	IT業界における近年の動向、および企業における新入社員教育の内容等についての研修
5月22日(水)	第1回診療情報管理に関連する講演会	アルスコンピュータ専門学校	医療機関における診療情報管理等についての研修。
6月26日(水)	第2回診療情報管理に関連する講演会	アルスコンピュータ専門学校	DPCの概要および、DPCの実際等についての研修。
6月29日(土)、7月13日(土)、27日(土)	専修学校教員研修会	埼玉県専修学校各種学校教育振興会	専門学校教員認定を受ける為の研修会
7月24日(水)	第3回診療情報管理に関連する講演会	アルスコンピュータ専門学校	DPCについての研修。
7月30日(火)	ビジネス能力検定ジョブパスセミナー	一般財団法人職業教育・キャリア教育財団	企業における採用と若年層スキルアップについての取り組みの事例紹介および試験制度改定と出題意図を題材とした指導ポイントに関する研修。
8月5日(月)～6日(火)	学級経営と個別カウンセリングのスキルアップ研修	全国専門学校経営研究会	教員の指導力向上と学科運営ノウハウを高めることを目的とした研修会
8月5日(月)～6日(火)	情報処理技術者試験対策教員研修会	全国専門学校経営研究会	情報処理技術者試験を指導する教員の事例発表を交えた研修会
8月6日(火)	次世代メディア研究会	全国専門学校経営研究会	ICTの活用に関する事例紹介などを交えた情報交換
8月5日(月)～7日(水)	管理職マネジメント研修	全国専門学校経営研究会	計画のマネジメント・コミュニケーション、部下育成のための管理職マネジメント研修

8月23日(金) 9月27日(金)	ビジネスプラン作成講座	アルスコンピュータ 専門学校	ビジネスアイデアを生み出すための、発想力を育成する事を目的とした研修
10月10日(木)	手話特別講演会	アルスコンピュータ 専門学校	「ろう者の生活とろう文化」をテーマにろう者を理解するための研修。
10月25日(金)	IT業界の動向と資格の強みについての講演会	CompTIA 日本支局	IT業界の近年の動向、認定試験の必要性、企業内での活用事例などの研修。
10月31日(木)	大学・高校実践ソリューションセミナー	株式会社内田洋行	グローバル人材育成、キャリア・就職支援、最新技術、タブレット活用、アクティブ・ラーニング等への対応を図る、ICTソリューションについての研修。

(4) キャリア教育・職業実践教育

①キャリア教育への取組状況

専門学校は職業に関連する専門的な教育を行うと同時に、学生一人ひとりが自立した社会人・職業人となるための教育を行うことも重要である。本校では1年次より教育課程にキャリア教育・職業教育を教科として位置づけ取り組んでいる。さらに、就職強化週間（11月、3月）での集中指導、OB・OG対談、専任の就職指導教員による個別面談等、様々な方法で学生の意識を向上させる取組みを行っている。多様化する学生や社会に対応する為には、教員のきめ細かい指導が必要であり、本校の特徴の一つである少人数制・担任制での教育が効果をあげるものと確信している。

②教育課程改善委員会

本校では企業や実社会が求める人材育成を行う為に、教育課程改善委員会を開催し教育課程の改善を図っている。教育課程改善委員会は外部委員（有識者および実務者）と内部委員（本校教員）で構成され、各分野の最新の情報や必要とされる人材像について情報交換される。ここでの情報はカリキュラム編成委員会に伝えられ、本校の教育方針等と照らし合わせ、教育課程やシラバスへの具体的な改善へ繋がっていく。

③実習等への取組状況

取り組み	目的および概要	企業等との連携内容	時間数
卒業研究	各学科コースで蓄えてきた知識・技能を生かし、グループ研究にて、実社会でいち早く戦力となるための実践力を養成する。	経営コンサルタントによる企画立案指導や業界関係者による評価、コメントをいただく事でより実践的な力を身につけさせていく。	224 時間
企業実習Ⅰ 企業実習Ⅱ	企業などでの業務を通じ、コンピュータを用いた事務作業や、適切な報告・連絡・相談の方法また、レポートの作成方法など、コンピュータの活用技術や社会人として必要な基本的な行動を習得することを目的とし、製造業、サービス業、ソフトウェア開発業などの企業において、実習担当者の指導のもと実習を行う。	受け入れ企業等と実習目的・実習内容・実習日誌における学修評価について打ち合わせを行う。受け入れ企業等に学生が事前に訪問し、実習担当者と打ち合わせを行う。実習期間中は、担当教員が各企業等を訪問し、学生の学習状況について直接確認するとともに、実習担当者と情報交換を行う。実習終了時には、実習担当者による学習評価も踏まえ、担当教員が成績評価・単位認定を行う。	48 時間
特別講義Ⅰ	現在及び将来のシステム開発者に必要とされるコンピュータ関連知識の理解度向上を図るため、企業・業界団体の指導、サポートの下、問題演習やテキストを使用した講義等で学習を行う。また、習熟度の客観的な評価を目的として、各種情報技術に関する認定資格の受	授業科目の担当教員と業界団体の講師が事前に打ち合わせを行い、授業内容や学習方針、評価項目について決定するとともに、業界団体から学習教材へのツールやリソースの提供を行っていただく。演習期間中は、担当教員が日常的な指導をしつつ、業界団	152 時間

	<p>験及びその対策を行う。</p>	<p>体の講師から認定資格に関するの情報提供や IT 業界の動向や資格取得の重要性、企業での活用事例などについての講演を定期的に行うなどの連携を行いながら授業運営を行う。また、業界団体の講師監修の試験を実施することにより、学生の学修成果の評価の一部とする。演習終了時には、業界団体の講師による学生の学修成果の評価を踏まえ、担当教員が成績評価・単位認定を行う。</p>	
ゲームプログラミング I	<p>現役でゲームプログラミングを制作している講師からの指導により、C#言語（XNA 環境）を用いて、実際のプログラミング制作の一連の流れを、講義と実習を通して経験することが目的である。</p> <p>具体的には担当講師の指導の下、C#言語仕様の基本を学び、与えられた課題プログラムの作成を経て、最終的には課題プログラムを独自のアイデアで改良できる段階に到達するのが目標である。</p>	<p>ゲーム作品制作に関する授業科目の担当教員と担当講師が実習前に事前の打ち合わせを行い、実習内容、生徒の学修成果の達成度評価指標等について定める。実習期間中は、担当教員が包括的な指導をしつつ、講師が専門性の高い技術的な指導等を定期的に行うなど、担当教員と担当講師が連携しながら授業運営を行う。</p> <p>実習終了時には、担当講師が筆記試験と課題制作によって、成績評価・単位認定を行う。</p>	224 時間
ゲームサウンド I	<p>現役でゲームサウンドを制作している講師からの指導により、実際のサウンド制作の一連の流れを、講義と実習を通して経験することが目的である。</p> <p>具体的には担当講師の指導の下、楽曲を作成できるまでのサウンド制作者としての基礎知識を身につけた後、架空の制作プロジェクトを想定して、学生自らが仕様書を作成し、サウンド発注ができるようになるための知識を身につけるのが目標である。</p>	<p>ゲーム作品制作に関する授業科目の担当教員と担当講師が実習前に事前の打ち合わせを行い、実習内容、生徒の学修成果の達成度評価指標等について定める。実習期間中は、担当教員が包括的な指導をしつつ、講師が専門性の高い技術的な指導等を定期的に行うなど、担当教員と担当講師が連携しながら授業運営を行う。</p> <p>実習終了時には、担当講師が筆記試験と課題制作によって、成績評価・単位認定を行う。</p>	64 時間
ゲーム企画	<p>現役でゲームプランニングを制作している講師からの指導により、実際のゲーム企画書作成までの一連の流れを、講義と実習を通して経験することが目的である。</p> <p>具体的には担当講師の指導の下、立案から原案書の作成を行い、クラスでの原案の相互評価を経て、最終的には自らの原案を企画書と</p>	<p>ゲーム作品制作に関する授業科目の担当教員と担当講師が実習前に事前の打ち合わせを行い、実習内容、生徒の学修成果の達成度評価指標等について定める。実習期間中は、担当教員が包括的な指導をしつつ、講師が専門性の高い技術的な指導等を定期的に行うなど、担当教員と担当講師が連携し</p>	32 時間

	して完成させる段階に到達するのが目標である。	ながら授業運営を行う。 実習修了時には、担当講師が筆記試験と課題制作によって、成績評価・単位認定を行う。	
ゲームプログラミング II	現役でゲームプログラミングを制作している講師からの指導により、Java 言語 (Eclipse 環境) を用いて、実際のプログラミング制作の一連の流れを、講義と実習を通して経験することが目的である。 具体的には担当講師の指導の下、Java 言語仕様の基本から、与えられた課題プログラムの作成を経て、最終的には自由制作課題を作成できる段階に到達するのが目標である。	ゲーム作品制作に関する授業科目の担当教員と担当講師が実習前に事前の打ち合わせを行い、実習内容、生徒の学修成果の達成度評価指標等について定める。実習期間中は、担当教員が包括的な指導をしつつ、講師が専門性の高い技術的な指導等を定期的に行うなど、担当教員と担当講師が連携しながら授業運営を行う。 実習修了時には、担当講師が筆記試験と課題制作によって、成績評価・単位認定を行う。	128 時間
ゲームサウンド II	現役でゲームサウンドを制作している講師からの指導により、実際のサウンド制作の一連の流れを、実習を中心に経験することが目的である。 具体的には担当講師の指導の下、効果音作成の基礎知識を身につけた後、学生自らが作成した仕様書を元に、映像に対して効果音を組み込むまでの一連の流れに必要な知識を身につけるのが目標である。	ゲーム作品制作に関する授業科目の担当教員と担当講師が実習前に事前の打ち合わせを行い、実習内容、生徒の学修成果の達成度評価指標等について定める。実習期間中は、担当教員が包括的な指導をしつつ、担当講師が専門性の高い技術的な指導等を定期的に行うなど、担当教員と担当講師が連携しながら授業運営を行う。 実習修了時には、担当講師が筆記試験と課題制作によって、成績評価・単位認定を行う。	32 時間
CAD 実習 (建築・電気上級 I)	建築における電気設備についての理解を深め、各室の用途に応じた電気設備を検討し、CAD により電気図面を作成する。 選択者は二年次の「CAD 実習上級 (建築・電気上級 II)」を選択することができ、より実践的な CAD による設計を学ぶことが出来る。	CAD オペレーション・設計に関する授業科目の担当教員と企業・業界団体等の講師が実習前に事前の打ち合わせを行い、実習内容、学生の学修成果の達成度評価指標等について定める。実習期間中は、担当教員が日常的な指導をしつつ、企業等の講師が中間的な評価や、専門性の高い技術的な指導等を定期的に行うなど、担当教員と企業等の講師が連携しながら授業運営を行う。 具体的には、二年次の実践的な CAD 製	48 時間

		<p>図工程業務を学ぶ授業の為に、基本的な建築・電気的设计に関する知識を学ぶ。その上で、実際の企業で用いられている電気設備図面のトレースを行い、現役の建築設計士である講師が図面の評価を行う。設計士と図面のチェックを数回繰り返すことにより、正確な製図が出来るとともに、CAD設計で必要な知識を身につける。</p> <p>修了時には、学生の学修成果の評価を踏まえ、担当講師が成績評価・単位認定を行う。</p>	
CAD実習 (建築・電気上級Ⅱ)	<p>建築意匠図を作成するための基本ルールの習得とその応用を学び、実際の業務で活用するトレース作業をより実践的に行う。</p> <p>また、即戦力として実務CAD操作にフレキシブルな対応ができる応用力を養う。</p>	<p>CADオペレーション・設計に関する授業科目の担当教員と企業・業界団体等の講師が実習前に打ち合わせを行い、実習内容、学生の学修成果の達成度評価指標等について定める。実習期間中は、担当教員が日常的な指導をしつつ、企業等の講師が中間的な評価や、専門性の高い技術的な指導等を定期的に行うなど、担当教員と企業等の講師が連携しながら授業運営を行う。</p> <p>具体的には、架空の住宅の設計図を制作する課題制作や、熊谷市との産学連携事業として、他教科で制作した商品企画課題を、CAD図面に起こす課題を行う。制作した作品は現役の建築設計士の視点からの評価を受ける。最終的な成果発表として、学校祭に作品を出展する。</p> <p>実習修了時には、学生の学修成果の評価を踏まえ、担当講師が成績評価・単位認定を行う。</p>	64 時間
病院実習Ⅰ	<p>病院の業務を直接体験することによって、自己を正しく認識し、仕事に取り組む態度を磨き、学習していることが、病院では実際にどのように生かされているかを認識することを目的として、近隣の医療機関において、実習担当者の指導の下、実習を行う。</p>	<p>受け入れ医療機関等と実習目的・実習内容・実習日誌における学修評価について打ち合わせを行う。受け入れ医療機関等に学生が事前に訪問し、実習担当者との打ち合わせを行う。実習期間中は、担当教員が各医療機関等を訪問し、学生の学習状況について直接確認するとともに、実習担当者との情報交換を行う。実習終了後、実習担当者からの勤務評価を学生にフィードバックし、</p>	120 時間

		今後学ばなければならないことを理解するために役立つ。実習担当者による学修評価も踏まえ、担当教員が成績評価・単位認定を行う。	
病院実習Ⅱ	病院の業務を直接体験することによって、自己を正しく認識し、仕事に取り組む態度を磨き、学習していることが、病院では実際にどのように生かされているかを認識することを目的として、近隣の医療機関において、実習担当者の指導の下、実習を行う。	受け入れ医療機関等と実習目的・実習内容・実習日誌における学修評価について打ち合わせを行う。受け入れ医療機関等に学生が事前に訪問し、実習担当者と打ち合わせを行う。実習期間中は、担当教員が各医療機関等を訪問し、学生の学習状況について直接確認するとともに、実習担当者と情報交換を行う。実習終了後、実習担当者からの勤務評価を学生にフィードバックし、今後学ばなければならないことを理解するために役立つ。実習担当者による学修評価も踏まえ、担当教員が成績評価・単位認定を行う。	40 時間
診療情報管理理論	医療機関における診療情報管理、DPCの概要、DPCの実際、ICDコーディングの実際などについて理解することを目的として、医療機関の実務担当者による講演会を行う。	診療情報管理論の科目の中で、医療機関の実務担当者による講演会を全3回実施する。事前に講演者と講演目的・講演内容について打ち合わせを行う。講演会では、講演および質疑応答を行う。講演会終了後、講演会を聞いて学生が理解できたこと、感想、質問などについてのレポートを作成し、講演者に提出する。学生のレポートに記載された質問に対しては、講演者から回答がフィードバックされる。	6 時間
保育実習Ⅰ (保育)	保育実習Ⅰは、日々の学習を通じて得た知識、技能、心構えを実際の保育現場で、乳幼児教育及び生活指導の学習を体験しようとする。保育実習は乳幼児の生活指導を中心に行い、こどもの発達助成を目指す。各保育所での保育は家庭的色彩が濃厚であるため、各保育所の特殊事情に即応できる能力を実践の場を通じて学び、保育者としての精神の向上と資質を高めることを目標としている。 ①保育所の内容、機能などを実地の体験を通	事前オリエンテーションに参加して、事前の準備を行う。 受入園にて担当保育士の指導を受け、見学・観察・参加・責任実習を経験する。 受入園では、個々の実習生に対し、勤務状況、実習日誌の記録、子どもの関係、保育の計画、実践上の方法技術、全体的な実習態度により総合評価を行う。その評価を踏まえ、担当教員が成績評価、単位認定を行う。	80 時間

	<p>して理解する。</p> <p>②保育所の集団としての児童および個人としての児童について理解する。</p> <p>③保育所における保育者の職務内容、役割、チーム・ワークなどを体験的に学ぶ。</p> <p>④実習生自身が自らの保育感、現代の家庭や社会についての考え方を深め、将来の保育者としての自覚を持つ。</p> <p>⑤学んだ理論が、実践の場でいかに具体化され、総合されるかを知り、さらに新しい学習目標を見いだす契機とする。</p>		
<p>保育実習 I (施設)</p>	<p>保育実習 I (施設) は、その習得した教科全体の知識・技能を基礎とし、これらを総合的に実践する応用能力を養うため、児童に対する直接的な働きかけを通じて、保育の理論と実践の関係について習熟することを目的としている。</p> <p>①児童福祉施設の内容、機能等を実地の体験を通して理解する。</p> <p>②児童福祉施設における集団としての児童および個人としての児童について、実践的な接触を通して理解する。</p> <p>③保育士の職務内容及び役割、また他の職員とのチーム・ワークなどを、実習生自身が補助的な立場に立つことにより、体験的に把握する。</p> <p>④他の保育士および児童と生活をともにし、実習生自身がさまざまな働きかけを行うことにより、自らの児童観・保育観、あるいはそれを取りまく現代の家庭や社会についての考え方を深め、将来の保育士としての自覚を得させる。</p> <p>⑤学んだ理論が、実践の場でいかに具体化され、総合されるかを知り、さらに新しい学習目標を見いだす契機とする。</p>	<p>事前オリエンテーションに参加して、事前の準備を行う。受入園にて担当保育士・指導員の指導を受け、見学・観察・参加・責任実習を経験する。受入園では、個々の実習生に対し、出勤状況、児童に対する態度、現場の職員・児童の保護者に対する態度、保育・養護の技術等により総合評価を行う。その評価を踏まえ、担当教員が成績評価、単位認定を行う。</p>	80 時間

<p>保育実習Ⅱ</p>	<p>保育実習Ⅱは、日々の学習を通じて得た知識、技能、心構えを実際の児童福祉施設の現場で、乳幼児教育及び生活指導の学習を体験しようとする。保育実習Ⅱは乳幼児の生活指導を中心に行い、こどもの発達助成を目指す。各児童福祉施設での保育は家庭的色彩が濃厚であるため、各児童福祉施設の特殊事情に即応できる能力を実践の場を通じて学び、保育者としての精神の向上と資質を高めることを目標としている。</p> <p>①児童福祉施設の内容、機能などを実地の体験を通して理解する。</p> <p>②児童福祉施設の集団としての児童および個人としての児童について理解する。</p> <p>③児童福祉施設における保育者の職務内容、役割、チーム・ワークなどを体験的に学ぶ。</p> <p>④実習生自身が自らの児童感、保育感、現代の家庭や社会についての考え方を深め、将来の保育者としての自覚を持つ。</p> <p>⑤学んだ理論が、実践の場でいかに具体化され、総合されるかを知り、さらに新しい学習目標を見いだす契機とする。</p>	<p>事前オリエンテーションに参加して、事前の準備を行う。受入園にて保育士、指導員の指導を受け、参加・責任実習を経験する。受入園では、個々の実習生に対し出勤状況および実習日誌の記録、子どもの関係、保育の計画、実践上の方法技術、全体的な実習態度により総合評価を行う。その評価を踏まえ、担当教員が成績評価、単位認定を行う。</p>	<p>80 時間</p>
<p>教育実習②</p>	<p>教育実習は、日々の学習で修得した知識や技能を、体験を通して実際の教育現場で実践することにより、幼児教育に対する理解を深めるとともに、現場における指導技術や実践活動を通して学び、教育者としての精神の向上と、資質を高めることを目標とする。</p> <p>実習事前指導：実習生として実際の教育現場につく前に、教育者としての知識、心構えを学習する。</p> <p>教育実習：これまでに学習してきた知識や理論などを子どもとの生活を通して、教育現場で実践する。</p> <p>実習事後指導：幼稚園において実習を終了した学生は、実習日誌を提出し、指導教員が評価を行う。また、反省・感想文（レポート）を提出する。</p>	<p>事前オリエンテーションに参加して、事前の準備を行う。受入園にて担当教諭の指導を受け、見学・観察・参加・責任実習を経験する。受入園では、個々の実習生に対し出勤状況および実習日誌の記録、子どもの関係、保育の計画、実践上の方法技術、全体的な実習態度により総合評価を行う。その評価を踏まえ、担当教員が成績評価、単位認定を行う。</p>	<p>80 時間</p>

<p>教育実習③</p>	<p>教育実習は、日々の学習で修得した知識や技能を、体験を通して実際の教育現場で実践することにより、幼児教育に対する理解を深めるとともに、現場における指導技術や実践活動を通して学び、教育者としての精神の向上と、資質を高めることを目標とする。</p> <p>実習事前指導：実習生として実際の教育現場につく前に、教育者としての知識、心構えを学習する。</p> <p>教育実習：これまでに学習してきた知識や理論などを子どもとの生活を通して、教育現場で実践する。</p> <p>実習事後指導：幼稚園において実習を終了した学生は、実習日誌を提出し、指導教員が評価を行う。また、反省・感想文（レポート）を提出する。</p>	<p>事前オリエンテーションに参加して、事前の準備を行う。受入園にて担当教諭の指導を受け、見学・観察・参加・責任実習を経験する。受入園では、個々の実習生に対し出勤状況および実習日誌の記録、子どもの関係、保育の計画、実践上の方法技術、全体的な実習態度により総合評価を行う。その評価を踏まえ、担当教員が成績評価、単位認定を行う。</p>	<p>80 時間</p>
--------------	---	--	--------------

④就職支援等への取組状況

本校では教務部（担任）、就職部、適職開発室の3部門によるきめ細かい就職指導が行われている。就職実務といった通常授業の他、就職強化週間、OB・OG対談、企業セミナー、など就職関連の行事や取組みも組み合わせることによって、学生の就職への意識付けや面接技術などを効果的に向上させるよう心がけている。毎週月曜日には就職会議が実施され学生の活動状況は常に情報交換されている。

(5) 様々な教育活動

①学校行事への取組状況

本校の学校行事はそれぞれに教育的な効果を期待して実施されている。

行事	時期	目的・内容等	
入学式	4月		
1日研修旅行Ⅰ	5月	東京ディズニーリゾート	校内の親睦をはかることを目的とした研修旅行
1日研修旅行Ⅱ	10月	CEATEC JAPAN	各分野の展示会などを見学し最新の動向を学習する。
	9月	東京ゲームショウ	
	10月	DIGITAL CONTENT EXPO	
	2月	文化庁メディア芸術祭	
	10月	ホスペック ジャパン	
	7月	モダンホスピタルショウ	
	10月	東京おもちゃ美術館	
楠際（文化祭）	7月	学習成果の発表	
合宿研修	8月	グループディスカッション、他者との共同作業	
スポーツ大会	10月	スポーツを通じて校内の親睦をはかる。体力および気力づくり。	
海外研修旅行	11月	米国（ラスベガス）、世界遺産の見学、専門学校視察など	
就職強化週間（秋期）	11月	集中的就職指導	
アワードバンケット	12月	高資格取得者の表彰	
OB・OG対談	1月	就職活動に向けての情報交換、意識づくり	
卒業研究発表会	1月	学習成果の集大成を発表	
スキー研修旅行	2月	スキーの基礎	
保護者対象就職説明会	2月	就職環境や就職指導、家庭での指導など説明	
就職強化週間（春期）	3月	集中的就職指導	
企業セミナー	3月	本校主催の合同会社説明会	
卒業式	3月		

②課外活動（ボランティア活動等）

主なボランティア実績

ボランティア先、主催	所在地	実施時期
夏季休暇中の保育ボランティア	社会福祉法人望末会キッズガーデン(深谷市)	平成24年8月
老本幼稚園運動会ボランティア	老本幼稚園(行田市)	平成24年10月
さんあい創立記念祭のボランティア（※毎年参加） (社会福祉法人三愛学園さんあい)	社会福祉法人さんあい(深谷市)	平成25年5月26日

第8回親子ふれあいプール祭り (NPO 法人子育てネットくまがや)	江南総合公園(熊谷市)	平成 25 年 8 月 2 日
第8回親子ふれあいプール祭り (NPO 法人子育てネットくまがや)	江南総合公園(熊谷市)	平成 25 年 8 月 3 日
子育て広場ボランティア (※毎年参加)	箕田公民館(鴻巣市)	平成 25 年 8 月 23 日
記念祭ボランティア (熊谷市社会福祉協議会)	特別養護老人ホーム ルーエ(熊谷市)	平成 25 年 9 月 15 日
食育せけ-託児ボランティア (NPO 法人子育てネットくまがや)	東京ガス熊谷支店(熊谷市)	平成 25 年 9 月 26 日
まむろ幼稚園運動会ボランティア	まむろ幼稚園(鴻巣市)	平成 25 年 10 月 5 日
食育せけ-託児ボランティア (NPO 法人子育てネットくまがや)	東京ガス熊谷支店(熊谷市)	平成 25 年 10 月 10 日
愛泉乳児園運動会ボランティア (社会福祉法人愛の泉)	愛泉乳児園(加須市)	平成 25 年 10 月 14 日

(6) 学生の生活支援

①学生支援への取組状況(学生支援の組織、学校生活上の諸問題に対する対処・指導状況)

退学防止会議	毎週水曜日実施。全教職員参加。休みがちな学生などの状況と対応策を検討。
教務部会議	クラス運営状況、方策などより具体的な内容について意見交換。
学生相談室	担任に相談しにくい内容については担当職員が窓口になって相談を受ける。
二者面談・三者面談	5月中旬より個人(二者)面談週間。それに限らず必要に応じて面談を実施している。
学生指導措置委員会	本校の問題行動学生の指導措置を規定に則り検討する為の委員会。
学校保健安全委員会	学生の健康、安全に関する支援。

(7) 学生納付金・就学支援

①学生納付金の取扱い(金額、納入時期等)

学科名	コース名	入学金	授業料 (前期・後期)	施設 設備費	維持費 (前期・後期)	1年次 合計	2年次 合計	3年次 合計
情報システム科	システム開発コース	150,000	400,000	245,600	139,600	935,200	785,200	—
	ゲームクリエイターコース	150,000	400,000	279,200	139,600	968,800	818,800	—
	CGデザイナー・CADコース	150,000						
情報ビジネス科	情報ビジネスコース	150,000	400,000	245,600	139,600	935,200	785,200	—
	保健・医療ビジネスコース	150,000						
ビジネス・ベーシック科	ビジネス・ベーシックコース	150,000	280,000	174,000	103,000	607,000	—	—
福祉保育科	幼児保育コース	150,000	400,000	150,000	60,000	760,000	610,000	610,000
						近畿大学九州短期大学学費が加算		
IT総合研究科	IT総合研究コース	150,000	400,000	245,600	139,600	935,200		—

■ 2・3年次合計学費は、1年次合計金額から入学金を除いた額となります。

◎特別講座など卒業に必要な単位(107単位)を超える選択授業を希望する方のみ、一単位当たり8,000円徴収する場合があります。

※入学時に校友会費として10,000円を納入していただきます。

※教科書・行事費等は実費負担となります。学科によって異なりますが、年間11万円程度です。(ビジネス・ベーシック科は年間9万円程度)

②活用できる経済的支援措置の内容等（奨学金、授業料減免の案内等）

《本校独自の奨学生・特待生制度》

奨学生制度

人物、学力ともに優れ、学内において模範生となるにふさわしいと認められる学生に対して、月額 20,000 円程度の奨学金(返還義務なし)を給付し、就学をすすめるものです。

●出願資格

本校への入学資格を有し、奨学生としてふさわしい人格を持ち、態度・行動において将来良識ある社会人として活躍する見込みを有する者。

※なお、ビジネス・ベーシック科入学希望者及び編入学希望者は対象となりませんので、予めご了承ください。

特待生制度

人物、学力ともに特に優れている者で、本校への入学がふさわしいと認められた者に対して、入学金を免除し、就学をすすめるものです。

●出願資格

本校への入学資格を有し、特待生としてふさわしい人格を持ち、態度・行動において将来良識ある社会人として活躍する見込みを有する者。

※なお、ビジネス・ベーシック科入学希望者及び編入学希望者は対象となりませんので、予め、ご了承ください。

●受付期間

【第1次募集】

平成 25 年 10 月 1 日～平成 25 年 11 月 30 日

【第2次募集】

平成 26 年 1 月 6 日～平成 26 年 3 月 1 日

※既に高等学校を卒業されている方は平成 25 年 9 月 2 日より受付いたします。

●出願期間

奨学生・特待生申込書を入学願書と同時に提出。入学願書の受験票もご記入ください。

入試連絡書封筒と 80 円切手が必要となります。

※郵送出願の場合は 80 円切手の提出が合計 2 枚必要となります。

●選考方法・試験日

- ①書類審査
- ②面接、作文、筆記試験（日時、場所は本校より指定します。）
- ③試験日は、後日、本校より通知します。

※他の減免制度と、奨学生・特待生制度は重複して利用することはできません。

《国の教育ローン（日本政策金融公庫）》

本校の入学者や在学者は、「国の教育ローン（公的な制度）」をご利用いただけます。

融資の対象者	入学または在学されている方の保護者
融資額	学生一人につき 300 万円以内
返済期間	15 年以内（交通遺児家庭または母子家庭の方は、18 年までの延長が可能です）
元金措置期間	在学期間以内
お使いみち	1. 入学時に必要な資金（入学時納付金・受験時の諸費用・下宿費用、等） 2. 在学中に必要な資金（授業料等学校納付金・交通費・下宿費用、等）
利率	年 2.45%（平成 25 年 2 月 14 日現在）
返済方法	毎月元利均等返済（ボーナス月増額返済も可能）
保証	財教育資金融資保証基金または連帯保証人（1 名以上）
お問い合わせ先	日本政策金融公庫 熊谷支店 熊谷市宮町 2 丁目 45 番地 電話 048-521-2731

（８）学校の財務

① 事業報告

本校ホームページを参照してください。

② 貸借対照表

別紙参照

③ 収支計算書

別紙参照

④ 監査報告書

別紙参照

(9) 学校評価

①自己評価・学校関係者評価の結果

平成 24 年度自己点検・評価報告書は本校のホームページで公開。同年の学校関係者評価は平成 25 年 10 月 9 日実施。結果内容については学校ホームページ参照。

②評価結果を踏まえた改善方策

本校ホームページを参照してください。

(10) その他

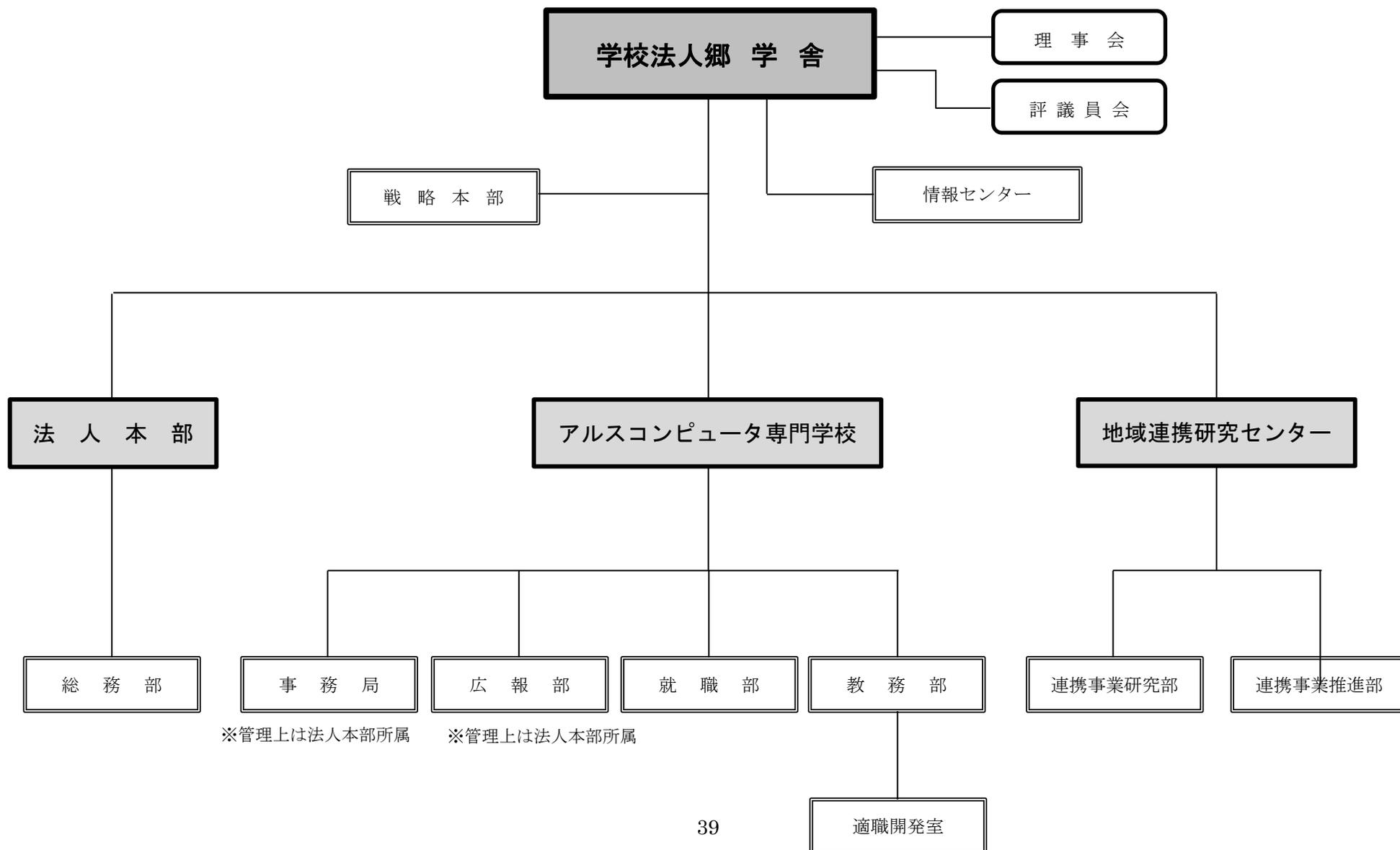
①学校運営の状況に関するその他の情報

1. 福利厚生

スポーツジム、英会話教室の利用が可能。

以上

(図1) 【組織図】



貸借対照表

(平成25年3月31日)

学校法人 郷学舎

(単位 円)

資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	646,019,809	644,230,875	1,788,934
有形固定資産	641,100,607	640,640,941	459,666
その他の固定資産	4,919,202	3,589,934	1,329,268
繰延資産	0	0	0
流動資産	280,526,235	271,759,443	8,766,792
資産の部合計	926,546,044	915,990,318	10,555,726
負債の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	242,738,585	266,346,585	△ 23,608,000
流動負債	204,504,467	192,958,198	11,546,269
負債の部合計	447,243,052	459,304,783	△ 12,061,731
基本金の部合計			
科目	本年度末	前年度末	増減
第1号基本金	598,064,940	556,950,380	41,114,560
第2号基本金	0	0	0
第3号基本金	0	0	0
第4号基本金	0	0	0
基本金の部合計	598,064,940	556,950,380	41,114,560
消費収支差額の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
翌年度繰越消費支出超過額	118,761,948	100,264,845	18,497,103
消費収支差額の部合計	118,761,948	100,264,845	18,497,103
科目	本年度末	前年度末	増減
負債の部、基本金の部及び 消費収支差額の部合計	926,546,044	915,990,318	10,555,726

平成24年度資金収支計算書

平成24年 4月 1日から
平成25年 3月31日まで

学校法人 郷学舎
(単位 円)

総括表

収入の部

科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	264,567,000	264,565,476	1,524
手数料収入	1,865,000	1,850,650	14,350
寄付金収入	120,000	119,000	1,000
補助金収入	5,790,000	5,794,000	△ 4,000
埼玉県補助金収入	(5,790,000)	(5,794,000)	(△4,000)
資産運用収入	30,000	30,288	△ 288
資産売却収入	0	0	0
事業収入	22,883,000	22,880,135	2,865
雑収入	2,914,000	2,913,549	451
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	174,913,200	174,913,600	△ 400
その他の収入	38,976,000	38,977,233	△ 1,233
資金収入調整勘定	△ 167,960,916	△ 167,965,416	4,500
前年度繰越支払資金	270,994,729	270,994,729	0
収入の部合計	615,092,013	615,073,244	18,769

支出の部

科目	予算	決算	差異
人件費支出	145,176,500	145,177,768	△ 1,268
教育経費支出	105,837,000	105,835,592	1,408
借入金等利息支出	3,404,405	3,404,405	0
借入金等返済支出	21,208,000	21,208,000	0
施設関係支出	7,644,000	7,644,000	0
設備関係支出	15,229,000	15,229,079	△ 79
資産運用支出	0	0	0
その他の支出	39,867,481	39,866,742	739
資金支出調整勘定	△ 2,616,000	△ 2,616,014	14
次年度繰越支払資金	279,341,627	279,323,672	17,955
支出の部合計	615,092,013	615,073,244	18,769

平成24年度消費収支計算書

平成24年 4月 1日から
平成25年 3月31日まで

学校法人 郷学舎
(単位 円)

総括表

消費収入の部

科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金	264,567,000	264,565,476	1,524
手数料	1,865,000	1,850,650	14,350
寄付金	120,000	119,000	1,000
補助金	5,790,000	5,794,000	△ 4,000
埼玉県補助金	(5,790,000)	(5,794,000)	(△4,000)
資産運用収入	30,000	30,288	△ 288
資産売却差額	0	0	0
事業収入	22,883,000	22,880,135	2,865
雑収入	2,914,000	2,913,549	451
帰属収入合計	298,169,000	298,153,098	15,902
基本金組入額合計	△ 41,114,000	△ 41,114,560	560
消費収入の部合計	257,055,000	257,038,538	16,462

消費支出の部

科目	予算	決算	差異
人件費	145,176,500	145,177,768	△ 1,268
教育経費	126,953,700	126,953,446	254
借入金等利息	3,404,405	3,404,405	0
資産処分差額	22	22	0
徴収不能額	0	0	0
消費支出の部合計	275,534,627	275,535,641	△ 1,014
当年度消費支出超過額	18,479,627	18,497,103	
前年度繰越消費支出超過額	100,264,845	100,264,845	
基本金取崩額	0	0	
翌年度繰越消費支出超過額	118,744,472	118,761,948	

監 査 報 告 書

学校法人 郷学舎
理事長 山崎 彰 殿

私は、学校法人 郷学舎の監事として、私立学校法第 37 条第 4 項に基づいて同法人の平成 24 年度（平成 24 年 4 月 1 日から平成 25 年 3 月 31 日まで）における計算書類（資金収支計算書・消費収支計算書・貸借対照表並びに付属明細表）及び法人の業務執行状況について監査を行いました。

監査の結果、私は上記の計算書類は学校法人会計基準（文部科学省令第 18 号）に準拠しており、学校法人 郷学舎の平成 25 年 3 月 31 日現在の財政状態及び同日をもって終了する会計年度の経営状況を適正に表示しているものと認めました。また、法人の業務執行状況に関する不正の行為又は法令もしくは寄付行為に違反する事実のないことを確認いたしました。

平成 25 年 5 月 2 日

監 事 田代 亮 雄 

監 事 持田 敬 彦 